



えかぼ



フォレストリーヴス熊本

社会人リーグ・V・チャレンジリーグに所属する熊本を本拠地としたバレーボールチームです。平成20年7月に開催したバレー教室をきっかけに、本市で毎年「年越し上天草合宿」を開催しています。熊本地震の後、大矢野総合体育館で練習をしているところにお邪魔しました。



目次

- P2~ 平成28年熊本地震に伴う議会の動き
- P4~ 第2回定例会、質疑、委員会報告
- P11~ 一般・緊急質問
- P17~ 議会傍聴席から、広報編集委員会研修
- P18~ 天草五橋50周年、国立公園60周年に寄せて

がんばろう熊本!

「平成28年熊本地震」私たちは忘れない!!

「平成28年

熊本地震」

4月14日、4月16日に発生した熊本地震により、県内では多く
上天草市議会では地震の影響による市民生活への影響を最小限

の方々が被害に遭われました。謹んでお悔やみ申し上げます。
に抑えるため、国、県への要望活動等を行いました。

要望活動

市議会議員有志で「平成28年熊本地震に係る支援を求める要望書」を県選出国會議員及び県議会議長に提出しました。

- 要望項目: 1 雇用対策について
2 観光振興について
3 公共施設等の早期復旧及び避難所機能の整備について 他

6月10日 市議会本会議において、津留副議長が活動報告を行いました。



▲6月2日馬場議員(左)と松村議員(右)

6月2日 熊本市

参議院議員 松村祥史 議員 馬場成志 議員

出席議員

田中勝毅 津留和子
何川 誠 嶋元秀司 切通英博 塩田真一 何川雅彦
小西涼司 島田光久 園田一博 桑原千知 渡邊勝也



◀6月6日
観光庁での
勉強会

6月6~7日 東京都

衆議院議員 園田博之 議員

出席議員

田中勝毅 津留和子
嶋元秀司 切通英博 塩田真一 何川雅彦
西本輝幸 高橋 健 桑原千知



◀6月6日
園田代議士(中央)

6月22日 熊本市

県議会議長 吉永和世 議員

出席議員

田中勝毅 津留和子
何川 誠 嶋元秀司 切通英博 塩田真一
何川雅彦 小西涼司 園田一博 桑原千知



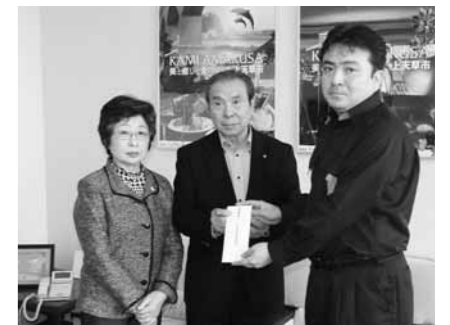
◀6月22日
県議会議長室

市議会の動き

- 4月14日 『地震発生』
- 16日 『本震発生』 市災害対策本部設置
- 21日 市議会全員協議会
市への意見書提出
議長・副議長と市長が対応協議
- 26日 市議会より日本赤十字社に義援金
- 5月17日 熊本地震復旧復興のための
平成28年度補正予算(総額7780億円)が
参院可決
- 20日 市議会全員協議会
国への要望活動を決定
- 20日 天草四郎観光協会と熊本地震による
観光産業の支援について意見交換会
(松島海運会館)
- 31日 熊本地震補正予算(1023億円)が閣議決定
- 6月1日 上天草市宿泊助成事業(予算額3800万円)開始
- 2日 松村祥史・馬場成志参議院議員に要望活動(熊本市)
- 3日 市議会本会議
市長に「市基幹産業の復興支援を要請する決議」提出
(提案者塩田議員他3名)
- 6、7日 園田博之衆議院議員に要望活動並びに観光庁加藤観光
地域振興部長と意見交換会(東京都)
- 10日 市議会本会議
津留副議長が要望活動報告
- 20日 『岩谷地区土砂災害発生』
- 21日 議長・副議長が岩谷地区災害現場視察
- 22日 吉永和世熊本県議会議長に要望書提出
山口裕県議同行(熊本市)
- 23日 市議会本会議
「特別な財政措置及び合併特例債の
発行期限延長を求める意見書」を国に提出
- 7月15日 市議会全員協議会
岩谷地区災害復旧及び今後の対応についての報告



▲4月21日市議会全員協議会



▲4月26日市議会より義援金



▲7月15日岩谷地区災害についての報告

★青…市議会の動き ★黒…国や市の動き

議案に質疑します



答 上天草市の戦略としてはアジア圏域を予定しておりますので、英語のほか韓国語、中国語が堪能な方があれば幸いだと考えています。平成27年度の観光客の実績を踏まえて、25%回復、5000人というところで見込んでおります。

宮下 地震被害で外国人観光客減少に対応するため外国語に堪能な人を公募するというがどのような人を雇用しようと考えているのか、費用対効果についての考えは。

外国人観光客誘客 支援員報酬

議案質疑とは、提案された議案に対して詳しく知りたい点などを執行部に質問することです。6月10日に行われた議案質疑について、その質問と答弁を要約して一部掲載します。

6月定例会

6月定例会は6月3日から6月23日まで開催され、承認6件、条例2件、予算6件、同意5件、請願・陳情5件、その他3件を審議し、議案は陳情1件を除き、全て原案どおり可決しました。



条例制定・改正 (主なもの)

○上天草市議会議員定数削減条例

議員定数18→16へ

6月10日、発議第3号「上天草市議会議員定数条例の一部改正(案)」が桑原千知議員より提出され、質疑・討論を経て賛成12反対2欠席1により賛成多数で可決されました。来年4月の市議会議員一般選挙より適用されます。

提案趣旨 今後の人口推移及び財政状況を踏まえ、議会が率先して予算削減を行うもの。2名削減した場合、4年間で削減する約5,000万円の予算は市民の要望する施策に活用することを執行部に願います。



宮下昌子 議員

▼現在も実質16人だが委員会での5人というのは少ない。簡単に減らすのはいかなるものか。まず費用弁償をなくすこと、そして議員報酬について考えるべき。

北垣潮 議員

▼民意を吸い上げるのなら多い方がいい。定数を2名削減すれば、約5千万円少なくて済むと言ったが、定数は同じにして議員報酬を1億円下げた方がいい。

高橋健 議員

▼熊本震災があつて議員としてできることは何かを考えた。この行動は議会として執行部に対する挑戦状と私は捉える。我々が身を削り今後、来年再来年度の予算に反映できれば市民のためになる。

何川雅彦 議員

▼議員報酬削減は、四年前も同じ主張をされた。ならばこの四年間に発議などで提案されれば良かったのでは。2名減は将来を見据えた決断であり実質16名で1年間乗り切ったのが1番の事実。

熊本地震による観光産業への影響緩和対策事業委託料

宮下 この事業についての費用対効果はどの程度見込まれているか。

答 観光客統計による宿泊客の平均単価が1万4千円であり、対象者を約8千人以上と想定しているため、直接的な費用対効果は1億2千万円以上になるものと考えています。

宮下 影響緩和対策での宿泊助成とともに配布されるクーポン券が、観光協会会員以外の施設や飲食店が使えないのは不公平ではないか。

答 風評被害による観光業への支援であり時間的余裕がなく、緊急性が高いと判断しました。上天草商工会のご理解を経て観光協会会員を対象施設にさせていただきます。



漁港施設と災害復旧工事測量設計委託料



▲湯島漁港

桑原 熊本地震での災害復旧費で経済振興部門だけ計上しているが、建設部門はなかったのか。

経済振興部長 被災した、大矢野町申漁港、湯島漁港、大手原漁港における3漁港、5施設で護岸や物揚場、防波堤等になります。5億3千万円程度の被害額になります。

建設部長 発災後、点検を実施しました。主要な市道及び法面崩壊等の可能性がある市道、橋梁の中で危険性のある施設を調査したが、異常は見えておりません。小規模な路面の変状の情報は、職員で調査した結果、公共土木施設災害復旧事業に該当するような案件は確認されておりません。

全国市議会議長会 永年勤続議員表彰

平成28年度の全国市議会議長会の総会において、切通英博議員が永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績に対し、全国市議会議長会から表彰されました。



切通英博 議員

議案等の賛否表

賛否のわかれた議案などについて、下記のとおり公表します。

議案番号	議案名	結果	表決数	何川誠	嶋元秀司	切通英博	塩田真一	何川雅彦	宮下昌子	西本輝幸	高橋健	小西涼司	北垣潮	島田光久	園田一博	桑原千知	渡辺勝也	津留和子	田中勝毅	
議案第42号	平成28上天草市一般会計補正予算(第2号)	可決	15-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号	平成28上天草市一般会計補正予算(第3号)	可決	15-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	平成28年熊本地震で影響を受けた基幹産業の復興支援を要請する決議書	可決	15-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第3号	上天草市議会議員定数条例の一部改正について	可決	12-2	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
発議第4号	平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置及び合併特例債の発行期限延長を求める意見書の提出について	可決	15-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

◎議案名は一部省略しています。

○:賛成 ●:反対 欠:欠席のため —議長は除く

請願・陳情

件名	提出者	結果
請願第1号 地域振興、地場産業の育成について	鈴居慶一郎	採択
陳情第4号 前島地区スクールバスについて	前島区長 園田賢一 松島中学校保護者4名	継続審査
陳情第5号 今津小学校から松島中学校に通じる通学路の改良及び舗装について	合の丸区長 坂本功 今津小学校PTA会長 松島中学校PTA会長	採択
陳情第6号 湯島・北海岸道路路下面陥没改修工事実施について	湯島地区代表 渡辺和典 外 住民56名	採択

選挙管理委員会委員の選挙が議長による指名推選で行われ、4名の委員と4名の補充員が当選しました。

●選挙管理委員会委員

北脇 秀樹氏
山口 洋一氏
野田 敬子氏
瀬崎 力雄氏
大矢野町

●選挙管理委員会委員補充員

黒瀬 真紀子氏
西中 憲昭氏
寺中 自子氏
岩本 勝好氏
大矢野町

人事案件



●教育委員会委員

山下 勝一氏
松本 修吾氏
松島町

●監査委員

岩井 千歳氏
大矢野町

●固定資産評価委員

松本 智氏
松島町

●固定資産評価審査委員会委員

静谷 正幸氏
小山 勝徳氏
杉田 良一氏
松島町
龍ヶ岳町



上天草市議会 常任委員会

総務常任委員会
6月17日

6月10日の本会議で委員会に付託された案件を、3つの常任委員会へ審査しました。委員会審査における主な質問とその答弁、委員の意見などを紹介します。

議案第42号
平成28年度一般会計補正予算(第2号)
〔所管部門〕

問 自主防災組織活動支援事業補助金60万円について伺いたい。

答 自主防災組織が防災活動として実施する訓練、学習会などに対し必要な経費を補助するもので、44組織から申請があり、当初予算(120万円)に不足するため計上するものです。



問 避難場所等整備事業費補助金450万円について伺いたい。

答 自主防災組織が実施する避難場所の整備について補助対象経費の5分の4の補助率で上限を50万円として交付するもので、18組織から申請があり、当初予算(200万円)に不足するため計上するものです。

要望 限度額50万円では、整備は困難ではないか。新たな制度等の創設を検討していただきたい。

平成27年第5回定例会において可決した「平成27年度上天草市一般会計補正予算」の下桶川白地公有財産購入に係る予算執行停止について

当該白地は、土地所有者が直接購入することになったため、白地購入に係る予算執行を行わず、道路用地取得については改めて予算を計上させて頂きたいと執行部から報告がありました。

経済建設常任委員会
6月16日

6月16日、現地踏査及び付託された議案について審査を行いました。その経過並びに結果についてご報告します。

議案第42号
平成28年度一般会計補正予算(第2号)
〔所管部門〕

問 外国人観光客誘客支援員報酬17万円について、採用基準は何を優先して、雇用期間はいつまでか。

答 地震発生により観光入込数の減少が懸念されることから、外国人観光客の受け入れ態勢を整備し、情報発信を図るため、外国の知識を有し外国語に堪能な嘱託職員を今年度末まで採用し、観光入込数の落ち込みを防ぎたいと考えています。



現地踏査



6月16日 経済建設常任委員会
湯島北海岸道路 現地踏査

陳情第6号
湯島北海岸道路下面陥没工事実施に
対する陳情書について

要望箇所は、通行等に支障をきたし放置すると崩落の危険性もあるが、改修箇所が点在しており、予算と期間が必要になるとの意見がありました。護岸整備については平成29年度から普通建設事業に計上し、危険箇所から仮設道を整備し計画的に改修を行いたい。との答弁もあり慎重審査の結果、採決と決定しました。

熊本地震による観光産業への
影響緩和対策事業について

観光産業を支援するため、宿泊助成及びクーポン券事業(3千200万円)を行ったが、予約が金額ベースで4千406万5千円となり、1千206万5千円超過しているとの報告がありました。早期の予約受付中止に至った配分方法や助成券の回収などについて、市と観光協会の間で認識の相違があった。現在、回収はしないよう、また超過分については予約数を報告するよう指示している。今後、同様の事態が起きないよう対応していくとの報告がありました。

案第47号
平成28年度一般会計補正予算(第3号)
〔所管部門〕

問 熊本地震に伴う中小企業の資金繰りを支援する利子補給補助金501万8千円について、対象者は誰に、どのような事業内容か。

答 熊本地震により被害を受けた本市、中小企業業者等で、前年度まで市税を滞滞なく納税している者を対象に、平成28年5月1日から12月31日までの間に資金繰りに係る新たな融資に係る利子を補助するもので、算定期間は3年以内、毎年度20万円を限度とするものです。

陳情第2号
市道山田大手原3号線道路拡幅工事の要望

施工については他にも多くの要望もあり、優先順位の調整が必要。拡幅工事となれば6百万円程度の工事費と試算しているとの説明がありました。優先順位の整合性は必要なものの、床板設置など工事方法によっては最小限の予算で付託に応えるよう努力できるものではないかという意見もあり慎重審査の結果、採決と決定しました。

市政のここを問う



一般質問

6月定例会では9人の議員が一般質問を行いました。

氏名	質問事項
何川雅彦	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 熊本地震における市民への対応について ▶ 熊本地震における近隣自治体への支援について ▶ 上天草市における道徳教育の充実について
桑原千和	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 熊本地震における本市の実施支援策について ▶ 観光宿泊助成事業について ▶ 行方不明者の捜索について ▶ 樋島大橋の補修工事について
塩田真一	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 震災後の観光振興について ▶ 上天草市の防災体制について
嶋元秀司	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 熊本地震後の取組みについて ▶ 若手人口の流出対策と上天草市独自の奨学金制度について ▶ 継続中の災害工事の進捗状況について
北垣 潮	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 熊本地震の対応について ▶ 今後の災害対策について ▶ 観光産業について ▶ 熊本日日新聞の首長の動向について

氏名	質問事項
高橋 健	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小学校部活動の社会体育への移行について ▶ 地域医療について
島田光久	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自主防災組織の強化策について ▶ 上天草市の人口減少の歯止め策について
宮下昌子	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 熊本地震災害から学ぶこと ▶ 緊急通報システム事業について ▶ 樋島漁協損失補償問題について
小西涼司	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 上天草市スクールバスの運行規則について ▶ 前島・千巖山総合開発について ▶ 熊本地震を受けて

※定例会及び臨時会の会議録については
ホームページや各図書館にて閲覧できます。
(定例会終了後、概ね2カ月後に
ホームページへの掲載及び図書館に
会議録配付となります。)

文教厚生常任委員会 6月15日

6月15日、付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

可決

議案第41号
上天草市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 具体的に変わる点は

答 保育の受け皿不足を解消するため、保育士と同等の知識、経験を有するものを認めるなど特例の追加です。

可決

議案第42号
平成28年度上天草市一般会計補正予算(第2号)所管部門

問 こども未来館法面補修工事について、発生時期は

答 4月に現地を巡回した際すでに土砂が崩れており、梅雨時期前に補修工事を行うべきと判断しました。

問 保育対策総合支援事務事業について、メリットは

答 保育園でのICT化推進により、保育士の業務負担軽減を目的としてい

問 スパタラソ天草営業損失補償を計上しているが、今後の長寿命化計画の予算の詳細はどうなっているか。

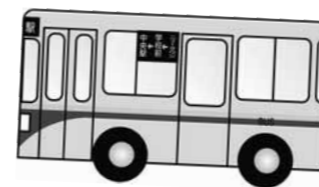
答 平成29年度は屋外防水工事2千95万円、30年度は外壁の防水と全面塗装工事で3千928万円を予定している。潮水を使用しているため老朽化が激しく、修理等して毎年約500万円を計上している。

今後、健康増進施設としての役割を果たしているという裏付けとなる調査を進めていきたい。

審査継続

陳情第4号
前島地区のスクールバスに関する陳情書

要望 この案件はすでに教育委員会が利用については認められないと回答している。今後は上天草市全体の問題ととらえ、スクールバスのあり方の見直しについて教育委員会で協議していただきたい。



議会の主な動き

6月

- 1日 全国市議会議長会理事会及び定期総会
- 3日 6月定例会開会
- 10日 議案質疑・委員会付託
- 13日 一般質問(14日まで)
- 15日 文教厚生常任委員会
- 16日 経済建設常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 23日 委員長報告・採決閉会
天草ジオパーク推進協議会監査
天草四郎観光協会総会
- 28日 八代・天草架橋建設促進期成会総会
- 30日 上天草衛生施設組合臨時議会

7月

- 11日 上天草・宇城水道企業団臨時議会
- 12日 上天草地区交通安全協会定期総会
- 14日 上天草総合病院創立52周年記念式典
- 20日 上天草衛生施設組合議会議員研修(20~21日)
- 21日 城南七市市議会議長会
- 25日 熊本県市議会議長会臨時総会
東京都・文京区長との意見交換会

8月

- 5日 子ども議会
- 18日 天草広域連合議会議会運営委員会
- 19日 天草・出水県際交流促進協議会総会
- 31日 天草広域連合第3回議会定例会





Q 宿泊助成のさらなるテコ入れは

A 各種動向を調査し、判断します
塩田 真一 議員

総務企画部長 本年度6月1日から既に12箇所に設置しています。費用は12ヶ所の2ヶ月分で930万円を見込んでいます。

塩田 昨年は豪雨災害がポンプ設置前に起こり被害が出たが、今年の対策及びその費用は。

【防災体制について】

塩田 自力で営業努力されているが情報発信力では行政に頼らざるを得ない。現場の声を真摯に聞き、本市観光産業への特段の配慮をお願いする。

塩田 今回の宿泊助成は早期に終了した。さらなるテコ入れが必要と判断した場合、秋以降に同様の助成を行うのか。

経済振興部長 緊急的支援の位置づけで、今回の宿泊助成を行いました。明確な判断基準はないが入込客の動向や各種団体の意見を伺い、本市の財政状況を見て総合的に判断します。



▲防災無線

総務企画部長 放送が聞こえにくい等の苦情もいただいています。市広報等で防災無線機器の日常的な管理をお願いしたところです。非常時の放送内容等には回数が少ないことと市民に十分な情報が伝わらないことがないよう対応したいと考えています。

塩田 宇城市と比べて本市の防災無線放送は回数が少ないのではないかと。非常時に対応した防災無線の在り方を問う。

塩田 今年の防災訓練では熊本地震を教訓にした内容は検討しているのか。

総務企画部長 住民の避難に関する課題が多く見られました。自主防災組織や住民を交えた総合的かつ実践的な避難訓練の実施を検討しています。

この2ヶ月の排水ポンプ設置で対応したいと考えています。



Q 近隣自治体への支援が必要だったのでは

A 市民の安心安全のために全力を注ぎました
何川 雅彦 議員



何川 大矢野町の人口を一箇所の指定避難所に避難させるのは被災者の負担や衛生管理の面から問題がある。消防団や自主防災組織を有効に活用すべきでは。

【初動の支援について】

何川 一刻を争う初動の3日間いろいろな支援が出来たと思う。天草からは渋滞もなく被災地に行くことができた。本震から4日後、議会からの質問に「被災地への物資支援ができる状況に無い」と回答されたが2ヶ月が経ち、初動の判断に付け加えることはないか。

市長 もし強い余震の場合に孤立するような事態を想定すると物資を出せる状況ではないか。



▲被災した宇土市役所

かかったというのは今でも正しい判断だったと思うています。支援を行いたいという声やボランティアに行きたいという声の職員からの申し出もありましたが、本市も安全なエリアではなく本市の安心安全をつくり上げるための活動を行ったところでは。

何川 本市は地震で橋が壊れたらどうにもならないことを市民はわかっている。助けてもらわなければならぬ。だから今回被災地が困っているならば支援に動こうという声が多数あった。上天草市民が誇りにできる対応を強く望む。



Q 地震後、観光PRなど内容変更はあるか

A 元気な上天草を発信していく
嶋元 秀司 議員

総務企画部長 若者の市外流出を阻止するための対策を考案中で、返済免除を含む奨学金制度なども有効な手段と考えます。民間との連携については、賛同が得られれば継続的に財源確保が出来るが、

嶋元 鹿児島県、長島町で取り組まれている「ぐり奨学金」など地元金融機関や地元産業団体生産者等、官民連携の奨学金制度について、若手人口の流出対策にも有効と思うが、どう考えるか。

【若手人口の流出対策と市独自の奨学金制度について】

嶋元 熊本地震後、避難や、初動体制に見直す点はあったか。

総務企画部長 国、県との整合性も考慮し防災計画の見直しの検討は必要と考えます。

嶋元 観光PRなど今後の展開はどう進めていくのか。

経済振興部長 観光PRについては震災復興メッセージを付加して「がんばろう熊本・天草から元気を！」をキャッチフレーズに積極的に展開していきます。

建設部長 所管で45箇所中、未完成13箇所です。不落はありません。

経済振興部長 所管において63件中58件を今年度に繰り越し。入札不調については、第1回目に24件中14件、第2回目に15件中8件が不落となり、災害件数が多く低額であります。

【継続中の災害工事の進捗よく状況は】

嶋元 昨年の豪雨水害復旧工事で未完のものは何か所あり、入札が不調になる工事の原因についてどう見ているか。

ぐり奨学金制度 長島町で町と地元金融機関等が連携した奨学金制度。地元出身の学生に対し、卒業後に同町に戻ってきた場合に、全額を町が負担する。基金に漁業組合がブリー一本出荷につき、1円寄付するなど、地域一体型の取組みが話題となっている。



Q 国の施策と連動し効果ある支援策を

A 議会の理解も得ながら進めたい
桑原 千知 議員



議員定数削減について 今回の発議は熊本地震が発生し、市議会として国や県に要望活動など行動する中で自然発生的に意見がまとまった提案であった。議会として率先して身を削ることで思いを形にし、一つのけじめをつけたと思う。翌日の新聞には天草市議会の宿泊助成前倒しの記事と隣り合わせで掲載された。それぞれの市議会でも問題意識を共有し、行動を形にした象徴的な記事であった。提案理由の中で4年で約5000万円の財源確保を唱えた。減らした予算は市民のために有効活用していただきたいとお願する。

【震災対応全般について】

桑原 スピード感を持って何回も繰り返している。執行部は問題を共有していただきたい。今、観光業界を助けることによって水産業など幅広い業種に波及効果がある。本市の最大の道だと思ふ。寝て

市長 議員有志で東京していただき要望活動を行っていただきます。大変強く思っています。また議会初日にも震災に対する決議を行っていただきます。今後とも予算を伴う措置も出てくると思ふので、議会の皆様方にもご理解いただきながら、施策を執行してまいりたいと思っております。





Q 上天草市の人口減少の歯止め策は

A 観光振興や産業活性化による雇用創出で

島田 光久 議員

島田 合併して13年になった。これまでの人口減少対策を尋ねる。

総務企画部長 観光地としての魅力を幅広く情報発信し、集客効果を高める観光プランDPR活動、新たな雇用を創出するための企業誘致事業、移住相談会の開催を行いUターン、Iターン、Jターンの移住促進事業など取り組んでいるところだ。

島田 昨年の国勢調査の人口減少率をみると本市は県内の市で人口減少率が一番で、人口減少に歯止めがかからない状況である。分析、検証されどどのように受けとめているか。

総務企画部長 昨年の国勢調査で本市の人口は2万6998人でした。これで平成22年から平成27年の5年間の減少数が2904人と、平成17年から平成22年の減少数の2600人を大きく上回っているところであり、人口減少の進展速度が増すという憂慮すべき事態になっているものと認識しております。

【奨学金制度について】

島田 鹿児島県長島町のぶり



奨学金制度は地元に戻ってきたら奨学金が免除される。当市でも若い世代の人材教育と定住策として導入しては。また将来の医者不足の解消のために、医者を育てるための奨学金制度もあわせて、検討してほしい。

市長 今、企画政策課のほうでうまくいけば来年導入に向けて、協議を続けているところだ。ドクターの奨学金であるとか、看護師もそうだが、人材を育てるためにはある程度のお金が必要になります。奨学金となると基金が必要となりますので、その費用をつむのが非常に難しいのであれば、金融機関とタイアップして基金をもって将来の移住・定住につながる奨学金制度を実施するのほひとつの手だと思っております。



Q 首長の動向から地震警戒対応を外してあるが

A 安全であり観光に来ていただきたいという思いです

北垣 潮 議員



北垣 熊本日日新聞5月31日時点でも、本市を除く13市長が日程のトップに地震警戒対応をうたっており、首長の緊張感と責任感が伝わる。市民に対しては、いざというときへの啓発・啓蒙であり、24時間体制で行政が動いてくれるという安心材料の重要なメッセージと受け止めているが、あえて5月9日から地震警戒対応という言葉を使わない市長の考えを知りたい。

市長 本市は安全だと、そして観光客にも来ていただきたいという以上は、やはりどこかで一つの区切りをつけないと、防災服を着ながら観光客の誘致というのも非常に難しいだろうという一つの判断と理解いただければ幸いです。

北垣 行政の最優先事項は何か。

市長 市民の安心・安全な暮らしだと思います。今の時点ではほかの自治体も震災対応をはずしているところも出てきています。

北垣 震災対応をはずしていたのは本市だけである。5月27日の熊本日日新聞に市長は東京・文京区、企業訪問とあるが、天草市長は終日地震災害警戒対応とある。天草市は

ボランティア隊も何度も出している。上天草市は何もしていないと言われる。新聞を見る人は県内の方である。ほんのりの方が震災に遭われて本市の観光にも来られない状況にあると思う。

【今後の災害対策について】

北垣 旧大道小学校、旧樋島小学校の体育館の耐震工事をすれば地震に対して良くなる。登立、維和、阿村、樋合、内野河内、姫戸、龍ヶ岳には地震・津波・土砂災害等に対しパーフェクトな避難所がない。財政調整基金をどう使うところに使ったらどうか。

市長 専決処分を含めて行った災害対策に係る予算は財政調整基金を取り崩してやっています。



▲旧樋島小学校体育館



Q 小学校部活動の社会体育移行の現在の進捗状況は

A 平成31年度の社会体育化を今目指しております

高橋 健 議員



高橋 平成31年度には小学校部活動が社会体育へ完全移行するが、これまでの取り組み及び進捗状況は。

教育長 平成27年8月に運動部活動及びスポーツ活動の在り方検討委員会を設置し、昨年度に計4回の会議を開催したところだ。

高橋 在り方検討委員会の中で、アンケートを実施するとの意見があったが、誰を対象にしたか、どの様な内容になったのか、また、その結果は。

教育長 在り方検討委員会では内容を検討して、最終的に、各PTAが独自で調査すると報告を受けております。結果はまだ報告を受けていません。

高橋 私は2年近く前に、こういう日が必ず来るから、子ども達や保護者達が困らないように、それに、準備が出来よう指導者を確保することを発言してきた。部活動が社会体育に移行する際、必ず指導者が必要になる。その把握も出ていない、子ども達のニーズもわかっていない、今から保護者のニーズを聞きませうか。

教育委員会が一定の方向を示してやらないと、在り方検討



委員会でも何を検討しているのか全くわからないと耳にする。平成31年度に移行して、県内でも先進地だと胸を張れるなら結果的にいいと考える。

市長 指導者を確保しながらする必要はあると思います。今は平成30年度末に向けて移行する過程で、ポイントは、クラブチームや組織等の体制を作ることが一番大きな問題だと思えます。現状、ドリムズがあります。一つの案として各学校にサテライトを置き、最終的にはドリムズに統一する。本市の人口からして、ドリムズ1つで賄えるのか、もう1つクラブが必要か、そういった議論をする必要があると思っております。



Q 公共施設の耐震診断と工事はどこまですすんでいるのか

A 全ての施設の耐震化は難しい

宮下 昌子 議員

宮下 市営住宅の耐震化と工事はどうなっているのか。

総務企画部長 下貫団地1号棟については診断を実施し、耐震を満たしています。

建設部長 現在283戸が入居しているが、ほとんど診断が行なわれておらず、今後診断を行ない、安全性を確認していきます。

宮下 指定緊急避難場所の耐震化工事についての計画は。

総務企画部長 全てを耐震化するには、相当な費用も発生します。最低限やっていかなければならないが、全ての施設の耐震化は難しいと思えます。

宮下 公共施設の耐震化工事については、これまで何度も議会でも取り上げてきている。地元業者の仕事起しにもつながる。計画性をもって少しずつでも実施していただきたい。

【緊急通報システム 事業について】

宮下 申請してもなかなか設置してもらえないという声があるが。

健康福祉部長 現在利用者は654名、待機者数は94名



▲緊急通報システム

です。2年半から3年ぐらい待ってもらっていると報告を受けています。今後については、新規購入30台、再利用分50台を7月から設置していきます。

宮下 昨年度の緊急通報など利用状況は。

健康福祉部長 消防本部への通報は30件、うち誤作動が7件、火災報知機が反応したものが3件、実際の緊急出動は20件です。

宮下 緊急通報システムは、何のために設置するのかを考えると、2年、3年以上待たなければならぬのは異常だと思ふ。市長の公約でも、安心・安全な暮らしを実現するために高齢者の幸せづくりもお約束されている。一刻も早い設置が出来る事を期待します。

傍聴席から

6月定例会傍聴後のご意見を一部抜粋して掲載します。
貴重なご意見ありがとうございました。

質問の内容が重複している部分が多く、議員間での調整はできないのでしょうか。

議員の質問をもっと増やしてほしい。
個人の見解よりも質問を多めにしてほしい。

議員削減よりも議員報酬の削減の方が市民の声が届くようになると思う。

6月10日、維和中学校3年生10名が総合的な学習の時間を利用して、議会の傍聴に来てくれました。

「上天草をよりよくしたい」という気持ちが伝わってきました。

私たちが大人になって、上天草に戻って来るようにどうするかについて意見を出し合っているんだと感じました。

議事の中でも質問は一人三回までや、質疑は無い場合は「なし」と言うなど、初めて議会を見て学ぶことができました。



広報編集委員会で研修に行ってきました!

5月16日(月)17日(火)に、より良い紙面づくりを勉強するため、研修に行ってきました。どちらの議会も、読みやすい紙面づくりに苦労されていました。また、SNSを使った新しい取り組み(facebook等)も始められていて、参考にすべきこともたくさんありました。参加した委員一同、さまざまな質問もし、刺激を受けた2日間でした。今後の紙面づくりに生かしていきます。

★筑紫野市★

人口約10万人、毎年人口が増加しているということで、うらやましい限りです。さて、広報ですが、一般質問は、質問項目によって文字数を指定されていました。また、アンケート調査、リニューアルを実施。『地方議会人』の広報クリニックにも応募されているようです。



★大刀洗町★

人口約1万5千人。広報は、町村議会全国広報コンクールで10位入賞するほどで、住民登場企画や一般質問で言い足りなかったことを載せる“議員のつぶやき”など色々工夫されていました。また、追跡記事は毎回掲載されるようです。



千巖山の開発は

A 天草絶景展望台として整備する

小西 涼司 議員



建設部長 千巖山道路については、平成23年度に予備設計を実施して、素案は出来ています。
経済振興部長 千巖山園地については展望台、駐車場、歩道、トイレの整備、車道として車が展望台まで行けるよう



▲国道266号線交差点

小西 前島、千巖山総合開発の今後のスケジュールはどうか。
経済振興部長 本年中にホテル竜宮側への国道266号線の拡張工事に着手し、年度内に竣工を予定しています。進捗を見計らいながら、市道の改良工事にも着手し、平成29年度から国道266号線とのすり合わせを行い、平成30年度末には供用開始する予定です。ヤマハ跡地は観光施設整備に関する基本構想に基づき進めていきます。

小西 今後、学校の統合を進める中でこうした問題はまた出てくるのは事実。規則の見直しは前向きな検討をお願いいたします。

教育部長 利用する条件として統合により通学する学校が変更になった児童生徒、次に遠距離通学者と定めています。利用年数の制限については学校、保護者等に十分な説明と理解を前提に検討が必要だと思います。規則にこだわることなくスクールバスのあり方そのものについて検討を行い、必要な措置を講じたいと思います。

小西 学校統合により、特例でスクールバスが利用できるが、年数を定める等、運行規則を見直す予定はないか。

【スクールバスの運行規則について】

に整備します。前島、千巖山総合開発に沿って平成29年度から平成30年度にかけて計画的に進めていきます。

緊急質問 (6月23日 本会議冒頭)



岩谷地区土砂災害の復旧をどう進めるか

A 整備促進を強く要望していく

嶋元 秀司 議員



▲岩谷地区土砂災害

嶋元 岩谷地区に甚大な土砂災害が発生したが、熊本地震に起因するものと考えるか、また、今後の被災者の生活支援や復旧について、どう取り組んでいくか。
市長 地震との因果関係については、否定できないと考え、関連付けた対応の要請をしながら協議を重ねています。
総務企画部長 避難については、老人福祉センターの協力をいただいているが、自宅が使えない方など順次、支援の検討をしています。
建設部長 復旧工事については県とも協議し、急傾斜地崩壊対策事業の実施などが考えられることから、整備促進を連携して国へも強く要望していきたいと考えています。

議会中継

本会議の様子がインターネットで視聴できます。

インターネットで視聴するには、上天草市のホームページに接続し、ホームページのトップ画面にある「上天草市議会インターネット中継配信」バナーをクリックすると視聴できます。

【上天草市ホームページアドレス】 <http://www.city.kamiamakusa.kumamoto.jp>





天草五橋開通50周年。

今年、2016年は天草にとって発展の大きなきっかけと
そこで、二つの事業に奔走された二人の森町長の偉業を、

右端国久、中央寺本知事
着工決定間近 昭和三十六年

森国久 天草郡町村会会長 (旧龍ヶ岳町長)

【昭和29年天草架橋の現実的運動の 突破口を切り開いた】

離島振興法の天草適用指定を機に、昭和29年から天草架橋実現運動が開始された。全国離島振興協議会の初代副会長、内閣離島対策審議会委員に就き、その活動の中心となり、運動を切り開き索引した。離島振興法によって、天草に当時1,300億円天草開発振興に投入され、天草架橋実現が可能になった。

どんなに橋を望んでも、橋につながる道路がなければ袋小路になるとして「交通第一」と提言し天草循環道路期成会会長となり、本渡瀬戸開削国営工事も完成し、橋に繋がる道路網の開通に全力を注いだ。

【天草振興協議会が発足し 運動の中心となった】

昭和29年天草郡町村会長、架橋期成会副会長に就き、天草振興協議会を結成し、初代振興協議会会長に就任しました。天草架橋等の陳情書について代表者として知事とともに提出した。昭和31年には天草架橋実現運動は加速し道路公団による調査等も開始され運動は加速していきました。



祝賀会で挨拶する森国久

【天草架橋開通後の展望も見据えていた】

観光立島に向け、キリタン遺跡保存や雲仙天草国立公園として具体化されました。

国立公園の必要性を説き、当時の長崎県知事に協力を要請し、昭和31年7月20日、天草の国立公園編入が告示され、当時の本渡市の天劇で盛大な祝賀会が開催されました。

【昭和36年6月26日 離島振興 天草架橋実現に命を懸け48歳で亡くなる】

超人的活動が体を蝕み、着工決定1月前であり、起工式の1年前に天草架橋開通を見ずして亡くなりました。起工式、開通式には妻の政子さんが遺影を掲げ参列しました。



旧龍ヶ岳町長室の肖像



国への陳情書

天草郡町村会長、県町村会副会長、天草架橋促進期成会副会長、全国離島振興協議会副会長、内閣離島対策審議会委員などの公職をかね、天草自治会館の設立、天草振興協議会の設立に功績を残し、離島振興、天草架橋の実現に活躍していた。

またことし一月から全国初の母子福祉、身体障害児童、戦没者遺族各年金条例を町単独で施行、町民の福利増進に努力していた。

【熊本日日新聞 昭和36年6月26日 夕刊】

雲仙天草国立公園指定60周年

なった天草五橋開通と国立公園編入の記念年となっています。
当時の新聞記事や回想記から読み解いていきたいと思ひます。



NHK「或る人生」より（昭和41年1月23日）

森慈秀 旧大矢野町長

森氏一周忌法要に際して関係者に送られた小冊子
「夢の足跡～森慈秀翁を想う～」
渡辺常吉著より（資料提供：澤村眞一氏）

【離島のなげき】

波のしぶきが屋根にも達する台風となったら、島民は全くお手上げだ。どんな急用があろうと、急病で医者を迎えたがって、ただ空を仰いで嘆息する外はない。

孤島のかなしさは、吾々少年も身にしてみていた。森少年が、後年天草架橋の悲願をいただいたのも、之が一つの機縁であったと思われる。

【夢の架け橋】

早稲田で培われた政経学の基礎に立って、先ず第一歩を県会に踏み出した。之が昭和十年、四十五才の男盛りであった。そして県会での最初の獅子吼が天草架橋の提案であった。



天草が本土につながった時点
栗原所長と握手（昭和41年1月23日午前11時30分）

【先見】

翁の先見の明は常人の意表に出ることがしばしばで、しかもそのスケールが大きいので山師とか底知れぬ怪物とかよく誤解されたものだった。夢の架け橋、世界的観光コースの想定、老人福祉問題の到来、物価節約のいましめ、また「眠れる獅子」と称された恐るべき中国の大発展を予期していた。そしてこれらの予言が二十年後三十年後に至って世人の目の前に実現してきた。

【人生最良の日】

何十億の国費を要する大事業を、国の片隅である天草島に持ち込むことは一通りの苦勞ではなかった。たびたびの上京陳情や、関係者の応対折衝などに寝食を忘れ、身心を削る労苦の年月がつづいた。

起工式や開通式の当日「人生最良の日」とよこんだ本人のにこやかな姿を想うと、心中さこそと察せられる。

【提案の構想】

提案の草稿は森の意図を受けてこの著者が書いた。書きながらも、この現実離れの内容が一体どんな反響を県会に起こすかを危うんだ。流れの早い三角の瀬戸に橋を架けるのは一般人の常識を越えることであった。

【町長出馬】

本人にはかねての愛郷心が湧いたらしく、且つ三十年前に提言した天草架橋の実現にも、現地の町長たるが好都合と考えて思い切って町長選出馬を決意した。(中略)この連続十二年間は、家を離れて下宿生活を続け、歳の老いるを忘れて町政に取り組んだ。とりわけ年来の宿望天草架橋に心身を燃やし尽くしたのである。森翁八十余年の生涯中でこの最後の十二年間の足跡が最も輝かしいものであった。



大矢野町長退任の日
職員に借生まれながら（昭和45年3月）

笑顔が*

姫戸小学校の元気な3・4年生です。プールの授業にお邪魔しました。7月14日(木)の校内水泳大会に向けて特訓中でした。さすがに“海の子”水の中では笑顔がいっぱいでした。



3年生



4年生

インタビュー、撮影にご協力いただきありがとうございました。

まちを歩いて

大矢野地区



維和桜・花公園 展望台

「天草四郎が通ったかもしれない道」から山頂へ、維和地区の人が愛してやまない場所です。一帯は旧学校跡地で、現在はグランドゴルフ場として整備されています。花見の名所としても知られ、年間を通して草花や野鳥の声から季節を感じることができます。展望所からは、東に不知火海、西に雲仙岳を望み、渡りの時期にはフジバカマに漂う渡り蝶、アサギマダラに会える…かもしれない静かな公園です。

表紙の写真

大矢野体育館で練習するフォレストリーグ熊本のもとに、Vリーグに所属する全チームから、応援の声が届けられています。



次の定例議会は

8月30日開会です。 ぜひ傍聴にお越しください。詳しくは議会事務局へ ☎0964-26-5536



委員長
副委員長
委員

津留 和子
宮下 昌子
嶋元 秀彦
何川 雅彦
北垣 千知
桑原 千知

上天草市議会広報編集特別委員会

上天草から熊本を、熊本から日本を牽引する意気で頑張ります。

(何川 雅彦)

先日夜間ライトアップされた熊本城を間近に観ることができました。傷ついても堂々とそびえ立つお城に万感極まるものがありました。復元には数十年かかるとも言われています。しかし敗戦後、復興までに百年掛かるといわれていた日本は約20年で世界第二位の経済大国になりました。熊本もこれから猛スピードで復興を成し遂げると信じています。

だからこそ多くの人に知ってほしいと思っています。

先日は主に熊本地震後の議会の動きを中心に編集しました。本市が天災に襲われたらどのように対処するかと置き換えて取り組まなければなりません。7月より政府の観光宿泊助成が始まっています。総額180億円、熊本県には65億円が配分されます。全国から熊本に人々が訪れることでしょう。上天草市の素晴らしさをこの機会だからこそ多くの人に知ってほしいと思っています。

編集後記

